

校番	95	ホームルーム活動	生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
----	----	----------	-------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立福山商業高等学校	校長	中原 朗	生徒指導主事	高橋 利宜
-----	--------------	----	------	--------	-------

**取組事例名 『インターンシップ』**

**取組のねらい『社会人基礎力の向上』**

2 学年の全生徒がインターンシップに参加することにより、様々な業種における就労体験等とおして、進路意識を向上させるとともに、望ましい職業観を養い、勤労観の醸成を図る。

**取組の具体的内容『生徒の自主性、主体性を育む』**

7 月上旬の 3 日間、福山市内の 100 以上の事業所等においてインターンシップを実施している。就労体験先を決定するに当たっては、生徒が自らの進路希望と照らし合わせ、希望する分野の事業所等を自分で探し、自ら電話等により連携をとることで、生徒の自主性・主体性を育むことを目指している。

実際に、進路意識の高い生徒に対してはもちろん、進路意識が比較的希薄な生徒についても、自分自身を深く見つめ直し、将来のなりたい自分について考え、自分自身で行動する機会となっている。



### 取組の課題・創意工夫『生徒の自己開拓と教師の支援』

生徒が実習先と連携するための事前指導として、相手先に失礼等がないよう、言葉遣いやメモ等について十分に指導するとともに、連携の際には、必ず教職員が傍に付き添い、生徒に連携をとらせている。

また、実習中は、教職員で分担し、全事業所を訪問し、生徒の様子について把握するとともに、今後の求人状況についても連携をとり、就職先の新規開拓にもつなげている。実習後の事後指導として、礼状の作成、成果発表会等を実施している。

課題としては、行事計画等の見直しを進め、他の学校行事等とのをさらに深め、教育効果をさらに高めていくことが挙げられる。

### 取組の成果（効果）『進路意識の向上』

生徒の資格取得率が向上し、今年度は3年生の全生徒が何らかの資格を取得することができている。また、高度資格取得や全国商業高等学校協会主催の検定試験1級を複数取得している生徒も年々増加してきている。

就職内定率も向上しており、早期に就職内定を受ける生徒の数も増加している。就職希望者は、早くから就職に向けての行動をとり、今年度は、9月16日からの就職試験に98.7%(昨年度95.28%)の生徒が受験し、内定率は84.0%(昨年度69.5%)であった。

### 今後の展開『文化祭等の学校行事のさらなる充実』

インターンシップを充実させることにより、生徒が校外で活躍する場を提供し、その姿を地域社会にアピールすることができている。今後は、文化祭等で販売実習を実施するなど、地域の方々を積極的に校内に招き入れる場を設け、本校が地域からより愛される存在となるよう、教育活動の有機的なつながりを深めたい。

### 他校へのアドバイス『全員参加』

数年前は、インターンシップは全員参加体制をとっておらず、多くの生徒が実習に参加せず、学校に残って自主学習をせざるを得ない状況があった。実習に積極的に取り組む生徒より、実習に消極的で、学校に残る生徒への指導に多大なエネルギーが必要であり、また自主学習中に問題行動が発生することさえあった。

全員参加体制を整えることにより、上記の事象がなくなるとともに、生徒同士の絆が深まったり、進路意識や所属感が高まるなど、学校生活をさらに大切にしようとする気運が高まっている。